

西

～にし～

Good News 特集号

■第五商業高等学校
全日制課程

「マーケティング特設授業」

■第五商業高等学校 全日制課程「マーケティング特設授業」

平成29年9月7日（木）、本校において2学年を対象とした「マーケティング特設授業」が行われました。今回の特設授業は「消費者の視点から探る企業の販売戦略」をテーマとして、講師に一橋大学大学院商学研究科の松井剛教授とNPO法人くにたち富士見台キーステーション（以下KF）に所属する一橋大学、津田塾大学の学生をお迎えして実施しました。

1・2時間目は、2学年生徒全員が視聴覚室に集まり、松井教授によるマーケティングの講義を受けました。簿記や情報処理、ビジネス基礎などの、商学・経営学につながる基本的な学びについては、これまでも取り組む機会がありましたが、マーケティングや消費者行動論といった専門的な学びについては、初めて学ぶ生徒も多く、講義を受けるまでは理解できるか心配する生徒も少なからずいました。しかしながら、商学部で学べる内容、大学のゼミや卒業論文の指導内容、マーケティング全般について、様々な事例を通して高校生にもわかりやすく、ときにはKFの学生を交えて楽しくお話ししていただき、90分の講義があっという間に過ぎてしまいました。

3・4時間目は、HR教室に戻り、グループワークを行いました。生徒達は「消費者の視点から探る企業の販売戦略」というテーマで、夏季休業中に宿題として取り組んだレポートを各自出し合い、1クラスにつき6グループに分かれてKFの学生の指導を受けました。どのクラスも活気にあふれ、KFの学生のきめ細やかな指導やアドバイスをいただきながら、活発に意見を交換して、熱の入った議論を展開していました。その後、グループの意見を1枚にまとめ上げて、プレゼン用の資料を作成し、各クラスで、全てのグループが順番に発表を行いました。緊張した面持ちで発表するグループもあれば、元氣よく発表するグループもあり、また、発表用シートに工夫を凝らして、それぞれの個性を生かしつつも、どのグループも一致団結して一つのことに取り組む姿に感心させられました。全ての発表が終わると、午後の全体発表に向け、各クラスの中から代表グループ2組が選ばれました。

5・6時間目は、再び視聴覚室に集まり、代表グループの発表が行われました。各グループ発表時間は2分間で、KFの学生と本校生徒との議論や質疑応答3分間をはさみ、最後に松井教授から一分間の指導・講評をいただきます。どのクラスも発表内容には工夫がみられ、なおかつ一貫して、高校生の消費者という視点からの発表内容でした。この授業を経て、生徒達は10月のビジネスプラン・グランプリへ応募・提出するアイデアの完成に向けて取り組んでいくことになります。

生徒達からは「大学の先生と話すことや、教えていただく経験がなかったので、とても楽しかった。」「プレゼンが意外とおもしろかった。貴重な経験となりました。」「大学生が優しかった。」などの感想が寄せられました。



講義の様子



グループワークの様子



東京都西部学校経営支援センター

〒190-0022 東京都立川市錦町4-6-3 東京都立川合同庁舎4階

電話（管理課）（042）527-6590

（経営支援室）（042）527-6980

ファクシミリ（042）527-6468